

好きです!! にしわき わたしのふるさと

今、この時を輝いて生きる
一次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり—
教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

市教委の取組内容を点検・評価し公開

西脇市教育委員会では、平成20年度から教育行政の管理および執行状況について点検と評価を行い、その報告書をホームページ等で公開して市民の皆さんにもお知らせしています。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）
第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成19年6月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正によって、平成20年度から教育行政の管理や執行状況について点検・評価を行い、課題や取り組みの方向性を明らかにしています。この法律では、点検および評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るよう定められているため、兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授や元教育委員の方々に外部評価をお願いしています。

点検評価の対象事業となる主要課題について、PDCAサイクルで精査し、5段階の自己評価による評価方法で報告書を作成し、議会に提出しています。さらに、その報告書を市ホームページでも公表し、市民の皆さんへの説明責任を果たすとともに、市民に信頼される教育行政の推進を図っています。

なお、平成25年度以降の報告書につきましては、当該年度分（4月から3月）の取組内容を、次年度の9月に開催される市議会に報告することとしており、平成25年度の報告書は9月下旬に市ホームページに掲載する予定です。市教育委員会では、西脇市教育振興基本計画「えくまち西脇!! eプラン」に掲げている「今、この時を輝いて生きる」次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくりを根幹とし、4つの具体的な行動目標を設定し、学校教育・社会教育のそれぞれの分野において、家庭・学校・地域との連携を図りながらさまざまな教育活動を展開しています。これらの事業についても、広報やホームページなどを通じて情報を発信していきます。

■問合せ 教育総務課
(市役所内線532)

あぐいコラム 73 自然の恵みを人から人へ 農からにぎわいあふれるまちづくり



9月1日から、広報4月号のこのコーナーで紹介したスィーツファクトリー支援事業が始まります。公募で決定した研修生2人が2年後の就農に向けて、モデル地区の市内落方町にある高設栽培用イチゴハウスで研修を開始します。研修施設の規模は栽培用ハウス720㎡が2棟、育苗用ハウス216㎡が2棟です。

これらの施設内に高設栽培用のベンチを設置し、育苗、定植、収穫までを研修していきます。また、併せて直売所への出荷や観光イチゴ園の経営などを実践していきます。

この事業は、単にイチゴ農家を育てるのではなく、地域の新たな農業の担い手を育成し、定住してもらうことで地域の活性化を図るとともに、

交流人口の増加や6次産業化による雇用の創出など多岐にわたる目標を掲げています。この目標を達成するために地域の皆さんのご協力が不可欠です。これまでも研修施設の農地あっせんや研修生の住まいなどご支援をいただいているところですが、引き続き、地域ぐるみで応援をよろしく願います。

このような背景の中で、「農からにぎわいあふれるまちづくり」を合言葉に大きな期待を抱きながらの出発です。今後、この研修内容や研修生の情報をアグリコラムでお伝えしていきます。

西脇市消費生活センター

☎22-3111(生活環境課内)

No.108

狙われる個人情報にご注意

公的機関を名乗り「あなたの個人情報が流出した。調査して削除してあげる」「あなたの名前が詐欺に使われている。そのまま放置すると大変」と不安をあおり、トラブルを仕立てた揚げ句、高額な金銭をだまし取る手口が増えています。また「あなたの個人情報が漏れているので確認している。金融資産調査をしている」など、誰もが知っている行政機関の職員を名乗り、住所、資産、銀行口座、暗証番号等を聞き出すなど手口は巧妙化しています。

公的機関が個人情報削除を業者に依頼することはなく、料金請求することはありません。また、調査で個人宅に電話して、いきなり生年月日や家族構成、年金額、資産状況等を尋ねることもありません。一度流出した個人情報を消去することは不可能です。流出・漏えいした情報にもよりますが、名前、住所、電話番号等が流出したとしても、それが直接金銭的被害につながる可能性は低いので過度な心配は不要です。不審な電話には対応せず、冷静に判断しましょう。

少しでも不安に感じたら、消費生活センターにご相談ください。

心のスケッチ

70

人権教育室コラム

共に暮らす人々の思いに寄り添う

昨年、拉致被害者の有本恵子さんのご両親、有本明弘さんと嘉代子さんに、ご自宅でお話を伺う機会がありました。

恵子さんは、高校生のころから語学への興味が高くなり神戸市外国語大学に進学、卒業後イギリスに留学をされました。そのまま北朝鮮当局に拉致をされたのです。音信が途絶えたのが1983年、それから30年の月日が流れました。

「どんなことをしてでも留学を止めればよかったと後悔の念ばかりが募ります」と嘉代子さんは話されました。そして、「ちゃんと、ご飯食べているのかなといつも思っています」とも話されました。何十年たとうが、子を思う親の心は変わらない、忘れることも、あきらめることもできない問題であるのだと、感じました。

「ただ…」と、お話を続けられました。「この問題に関して、在日朝鮮人に対するいじめが起こったことがありました。しかし、在日朝鮮人の方にも、北朝鮮の国民にも責任はないのです。その人たち

をいじめるのは間違っています」

部屋には、「一日も早く会えますように」との文字が刻まれた置物がありました。「ずっと支援をしてくれている在日朝鮮人の方がくれたものです」と話してくださいました。

別の支援者は、「今、東北に来て、復興のお手伝いをしています。でも有本さんのことも忘れていないからね」という手紙をくださったそうです。「ある人の悲しみに気づける人は、いろんな人の悲しみにも気づけるのかもしれない。一つの人権課題に関心のある人は、他の課題にも関心があるのかもしれない」そんなことを感じました。

当事者にしか分からない苦しみや不安があります。しかし、「少しでも理解し勇気づけたい」そんな気持ちをもって、共に暮らしていける社会でありたいです。「生まれてこれてよかった」みんながそう思える社会でありたいと思っています。

(人権教育室)

市長からの手紙

西脇を元気に!!

08



西脇市長 片山象二

北海道富良野市を訪れて…

北海へそ祭りに出席するため、友好都市・北海道富良野市を訪問し、多くの市民と交流を深めてきました。

話を聞く中で驚いたことは、富良野市内で排出されるごみの90%強が再資源化されているということ。そこで、リサイクル施設や環境衛生センターの視察をお願いし、ごみの分別や固形燃料化、し尿の浄化、生ごみの堆肥化などについてご説明いただきました。西脇市では、市民の皆さん



富良野市役所にて能登市長と



富良野市の分別用ごみ袋

のご協力のもと、現在、ごみを9種類に分別していただいています。富良野市はその上をいく14種類。また、処理方法についても参考になることが多くありました。「環境」をキーワードとしてまちづくりを進めている西脇市にとって、非常に有意義な視察になったと考えています。ごみ処理だけでなく、観光や農業など友好都市の事例を参考に、西脇市らしいまちづくりに挑戦していきたいの思いを強くしました。このまに生まれたことを誇れる「西脇市」をともに創っていきましょう。